



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2024～2025 年度 高山中央 RC 会長テーマ

美しい調和 「beautiful harmony」



◆会長 堀口 裕之 ◆幹事 高橋 厚生 ◆会報委員長 中屋 出 ◆会報担当 中屋 出

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30~

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1392 回	52 名	52 名	31 名	——	59.62%
前々回 1390 回	52 名	52 名	41 名	0 名	78.85%

### <新緑例会>

日時：令和 7 年 5 月 19 日（月） 18：30～21：00

会場：N リゾートレストラン（旧フローラ）

司会 西田 智

皆様の笑顔と共に過ごしたいと思います。

### ●幹事報告

幹事代理 熊崎 元康

### ●点鐘

### ●会長挨拶

会長 堀口 裕之

会長 堀口 裕之

本日は親睦活動委員会による新緑例会です。住委員長よりしくお願いいたします。

「新緑」は俳句などでは初夏の季語です。5 月頃を指すことが多く、初夏を象徴する言葉として使われています。同じく春の俳句の季語に「山笑う」という季語があります。

春の山を「山笑う」といい、ちなみに夏は「山滴る（したたる）」秋は「山粧う（よそおう）」冬は「山眠る」とそれぞれ俳句の季語にもなっています。この言葉の出どころは中国の画家郭熙（かくき）が四季の山の画の品位について述べた一節からきており「春山 淡冶（たんや）にして笑うが如く、夏山 蒼翠（そうすい）にして滴るが如く、秋山 明浄（めいじょう）にして粧う（よそおう）が如く、冬山 惨淡（さんたん）として眠るが如し」だとされています。

冬の「山眠る」は落葉し冬の静寂に包まれる様子をよく言い表していますし、秋の「山粧う」も紅葉で山が化粧をして華やかな様が想像できます。夏の「山滴る」も草木の葉で覆われて緑が滴るように満ちている夏の山を形容しています。で、春の「山笑う」どんな山の様子が、浮かびますか？

冬の間眠っていた山が春の訪れを察知して芽吹き、新緑が芽生えることで山全体が日ごとに変化し、まるで笑っているかのように、穏やかで明るい様子を表現した言葉「山笑う」にちなみ、新緑例会を



### ●親睦活動委員長挨拶 委員長 住 裕治

本日は、この美しい新緑の下、皆様と例会を迎えられ、大変嬉しく思います。

親睦委員会では、会員の皆様の友情を育み、より良い協力関係を築くため、様々な活動に取り組んでおります。本日の新緑例会が、皆様にとって心安らぐ、親睦を深める良い機会となれば幸いです。

ささやかではございますが、いつもの BBQ や宴会料理とは少し違った新緑をイメージした、御料理で楽しいひとときをご用意いたしました。最後のデザートを少し工夫しました。どうぞごゆっくりお過ごしください。

本日の例会が、皆様にとって素晴らしい時間となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



<乾杯>

直前会長 岩本 正樹



<中締め挨拶>会長エレクト 都竹 太志

<歓談風景>

